



新清掃工場「はなもゆ」火入れ式

ごみの焼却は広域処理で

萩市山田に建設中の新清掃工場「はなもゆ」の火入れ式が12月17日(水)に行われ、関係者ら約50人が参加しました。「はなもゆ」は、萩・長門清掃一部事務組合により平成24年度から建設が進められてきました。処理能力は、1日あたり104トンで、萩市・長門



▲新清掃工場「はなもゆ」の外観

市・阿武町での広域処理を行います。

式では、管理者の野村興児萩市長、副管理者の大西市長、施工者の日立造船(株)の古川実取締役会長兼CEOにより点火されました。今年1月5日から、可燃ごみの搬入が始まりました。



▲大西市長と野村萩市長(中央)と古川CEO(右)が点火

仙崎市場と長門地方卸売市場で初競り

農水産業から長門を元気に

1月5日(月)未明、仙崎市場で初競りが行われました。藤田昭夫山口県漁協長門統括支店運営委員長が「水産のまち仙崎の元気を取り戻し、長門を元気にしていきたいましよう」とあいさつしました。藤田運営委員長による初競りで今年の競りが始まり、新鮮な魚や貝などが次々に競り落と



▲たくさんのイカが競りにかかる(仙崎市場)

されていきました。また、長門地方卸売市場でも同日朝、初競りが行われました。長門大津農業協同組合の小田保男組合長があいさつに立ち、「市場を農協として守っていききたい」と述べました。カブやトマト、キャベツ、ネギ、キュウリなどが次々競り落とされていきました。



▲キクが競りにかかる(長門地方卸売市場)

油谷こどもミュージカルが公演

魂のこもった演技で魅了

12月21日(日)、ラポールゆやで油谷こどもミュージカルの第13回定期公演「二人をつなぐペンダント」が上演されました。この日は2回の公演が行われ、約1,000人の観客が来場しました。物語は、主人公のハルが交通事故で死んでしまった場面

から始まります。家族にお別れをしたいハルは、もう一度人間の世界に戻り、そこから様々な展開を見せる愛と友情のストーリーです。小学生から高校生30人と大人2人が出演したステージは、魂のこもった演技で観客を魅了しました。



▲フィナーレのようす

市民協働によるまちづくりポスターコンクール

市民協働を啓発し、広める

1月6日(火)、ルネッサなかと文化情報ギャラリーで長門市市民協働によるまちづくりポスターコンクール表彰式が行われました。表彰式で大西市長は「素晴らしい作品を出していただきありがとうございます。展示して市民協働を広めていき

い」と述べました。最優秀賞には岡本公平さん(大津緑洋高等学校2年)が選ばれました。また、優秀賞には中澤咲乃さん(菱海中学校3年)、中野さくらさん(浅田小学校5年)、中村優佑さん(日置小学校4年)が選ばれました。



▲表彰式を終えて。右から3番目が最優秀賞の岡本さん

鳥インフルエンザの発生について

発生からの経緯
昨年12月29日に長門市で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。同日21時30分に長門市防疫対策本部を設置、山口県と協力して、飼養されていたニワトリの処分を30日未明から開始し、24時間以内に終わりました。また、鶏舎の防疫措置も1月1日19時に完了しました。



▲防疫対策本部の会議のようす(12月29日)

風評被害を防ごう
鳥インフルエンザについては、これまで鶏肉や鶏卵を食べることによって、ヒトに感染したという事例の報告はありません。

また、現在販売されている鶏肉や鶏卵は、処理場や包装施設で洗浄や消毒などの安全のための措置が講じられており、食鳥検査法に基づき、厳しい基準に合格したものが出荷されています。どうぞ長門市産の鶏肉や鶏卵を、安心してお召し上がりください。

平成27年長門市消防出初式

1月11日(日)に行われた平成27年長門市出初式で表彰を受けたのは、次の団体・個人です。

()内は所属部隊(敬称略)

山口県消防協会会長表彰

功績章

西松啓吾(俵山1) 鶴城学(同)
村田真二(三隅1宗頭) 梶川節
雄(日置1) 光井修(同) 橋本
英利(油谷蔵小田) 松崎光政(宇
津賀角山) 三井吉則(宇津賀立
石) 坂根輝彦(向津具久津) 入
江博幸(同)



▲人員機材点検の様子

勤続章

入江寛(本部) 谷村和春(宇津
賀津黄) 岡崎敏明(深川北2)
永尾智之(日置2) 野中保志(日
置3) 田中茂美(油谷人丸) 高
橋伸二(同) 松永恵(油谷河原)
馬渡敬芳(宇津賀角山) 吉村博
克(向津具大浦) 大汐光晴(向
津具本郷) 木原康博(同) 松本
恭幸(向津具川尻) 末永貴(日
置1) 藤嶋哲(日置3) 島田茂
(油谷伊上) 平川祥之(油谷蔵
小田) 藤本清文(向津具本郷)
林優也(同) 岡島幸也(向津具
川尻) 寺戸寛史(同)

長門市長表彰

優良団員表彰

田中一夫(仙崎4) 松本博(同)
河野共展(深川北1) 末永修(同)
谷川修司(深川北3) 竹内卓三
(深川南1) 中村伸夫(深川南
3) 山下伸一(同) 永尾敏和(日
置2) 宮崎貢(同) 平瀬祐治(宇

津賀津黄) 井上良助(向津具大
浦) 磯本真司(同) 木原康博(向
津具本郷) 原田敏成(同)

永年勤続退団者感謝状

入江寛(本部) 末永信治(同)
中村定(仙崎2) 河野好宏(深
川北1) 石村照明(三隅3) 池
本和博(油谷) 境谷知之(油谷
人丸) 宮崎善弘(油谷蔵小田)
河上幸男(同) 三村隆信(宇津
賀) 島田章(向津具久津) 奥藤
義貞(同) 金山義人(同) 藤永
裕明(向津具田久道)

長門市消防団長表彰

精勤賞

山下雄二(通2) 藤井大介(仙
崎2) 村上孝志(同) 市川博一
(仙崎3) 市川聡(同) 舩谷暢(同)
吉津隆史(仙崎4) 林範真(同)
古田勉(同) 和田泰隆(同) 石
原大資(深川北1) 山本道善(同)
山田高大(深川北2) 石川修一
(同) 河野真治(深川北3) 前



▲観閲行進の様子

永尾和彦(同) 後誠志(日置3)
杉村栄治(油谷人丸) 角野一(油
谷河原) 市川裕之(油谷蔵小田)
藤岡三政(宇津賀角山) 本永隆
(向津具久津) 井上義(向津具
大浦) 藤本清文(向津具本郷)
林優也(同) 寺戸寛史(向津具
川尻)

山口県消防クラブ連合会 会長表彰

優良クラブ指導者表彰

藤本英子(みのり保育園幼年消
防クラブ) 湯野芳子(三隅保育
園幼年消防クラブ) 上野陽子(向
津具保育園幼年消防クラブ)

優良クラブ団体表彰

東深川保育園幼年消防クラブ
消防団協力事業所認定証
交付

(株)協同丸水産・特別養護老人
ホーム養寿苑



▲表彰を受ける東深川保育園幼年消防クラブ

長門の People



伊藤 就一 いとう しゅういち

昭和48年11月、深川湯本湯本区生まれ。平成15年に家業である旅館業に就く。同年より湯本温泉旅館協同組合青年部の一員となって音楽や灯りを使ったイベントを企画し、湯本温泉の活性化のため尽力。平成26年7月に青年部の部長となる。現在41歳。2月14日に行われる「LOVE花火 in バレンタイン」では、イルミネーション点灯式や恋文コンテスト受賞発表のほか、20時からハート型のメッセージ花火が打ち上げられる。

山口県で最も古い歴史を持つ温泉として知られている湯本温泉。平成18年10月に「恋人の聖地」として認定された恋叶うまち湯本温泉を流れる音信川には、温かくも美しい恋伝説が残ります。

湯本温泉旅館協同組合青年部で部長を務める伊藤さんは、毎年2月の第2土曜日に恋人の聖地にちなんだ「LOVE花火」というイベントを開催しています。

冬の風物詩として定着してきたこのイベント。花火はもちろん、チョコレートフォンデュやココアなど温かいもののおもてなしや地元アーティストによるライブで会場を盛り上げてきました。

「毎年天候に泣かされている。趣向を変えた今回は、天候の良い中で開催したい」と願う伊藤さん。

イベントの見どころは、足湯のライトアップ。当日の2月14日から3月14日までの期間を恋人月間とし、足湯を演出。また、今年から会場での生演奏をやめ、地元アーティストにラブソングを中心とした音楽を編集依頼。BGMとして流し、訪れた人に素敵な空間を提供します。

伊藤さんは「恋人や夫婦、家族など大切な人と足湯で温まりながら寄り添い、のんびり過ごして欲しい」と提案します。温かいおもてなしでロマンティックな時間を過ごすカップルが見上げる夜空を、大切な人を想う気持ちの込められたハート型の花火が彩ります。